

五
130

丙
昭和八年八月廿七日

立案 昭和八年八月廿七日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍大佐山本正位階追陞ノ件

昭和八年八月廿八日
臺帳記入
月 日 裁可
日官報報告濟

裏面白紙

39



故海軍大佐山本 正位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年八月二十六日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

人海位第三四〇號

起

昭和十八年八月

日

議可昭和十八年八月廿六日施行

決定昭和十八年八月

月

日

施行

昭和

年

月

日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍大佐山本正位階追陞ノ件

辭令案

例文

八月二日付

内閣

裏面白紙

海軍大臣 奏ス

敍正五位 昭和十八年八月二日死亡 故海軍大佐 從五位 山本 正

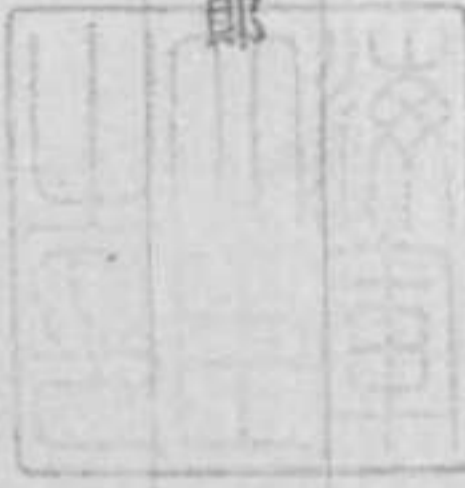
大正十三年十二月一日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官 敍位進階 內則 第四條ノ二三 依リ

謹テ 奏ス

昭和十八年八月二十四 日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海 軍

212
4

官
不
登
載

海秘八第九口五號

昭和十八年八月二十四日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

故海軍大佐山本 正ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ盡
シ功績顯著ノ者ニ候處太平洋方面ニ於テ作戰從事中八月二
日戰病死候ニ付テハ特ニ位一級被追陞度別紙上奏書進達ス

海軍

(終)

丙 海軍 二 三六 號



52

丙發第一二六號

故海軍大佐從五位山本正

特旨ヲ以テ位一級追陞セラレ

昭和十八年八月二十八日

從五位山本正

敍正五位

昭和十八年八月二日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭
令ハ追テ可及回送候也

昭和十八年八月三十日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣

宮内省

裏面白紙